

千歳レトロ写真館

千歳市企画部主幹(空港開港100年記念担当)では、2026年10月に空港開港100年の節目を迎える千歳の空港の歴史を回顧する特集を2025年元旦号「前編」・2026年元旦号「後編」の2回に分けて掲載いたします。皆さまぜひご期待ください。



1951.10

民間航空再開(千歳神社付近)

1945年、戦争は終わり、アメリカをはじめとする連合国軍が国内に進駐を開始しました。ここから約7年間、日本は連合国軍の占領下に置かれることとなります。

終戦から間もなくの日本では、GHQが発出した航空禁止令によって、日本側の自主運航禁止、航空会社の解散はもとより、航空機に関する研究・実験・運用等の活動までもが一切禁止され、代わりに外国の航空会社が続々と国内に乗り入れていましたが、1951年1月になると航空禁止令が緩和され運航が可能となり、日本航空株式会社が設立されました。

日本航空は10月に東京=札幌など6路線の事業免許を得て、自主運航を開始しました。

同じころ道内では、民間航空再開に向け、丘珠にある札幌第一飛行場と千歳飛行場との間で誘致合戦が起こっていました。このときの千歳町長である山崎友吉は、日本航空の設立を機に、ここで民間航空を誘致できるかが今後の町勢を左右すると考え、GHQに対し千歳飛行場を使うよう直談判をします。さらに自ら先頭に立ち、関係省庁への陳情活動を精力的に行いました。

丘珠と千歳は、ともに滑走路延長が1,200メートル。戦前の実績や、札幌への利便の面では丘珠に分がありました。これに対して千歳は、積雪量の少なさと、1年を通してほぼ南北にしか風が吹かないという気象条件の良さをアピールしました。

その結果、気象条件のほか当時の施設状況も考慮され、日本航空による東京-千歳間航路が開設されることになりました。

その1番機は「もく星」と名付けられ、1951年10月23日、千歳飛行場に飛来しました。千歳市街地の各戸に日の丸が掲げられ、千歳神社前には児童生徒が日の丸小旗を持って集まり、民間航空の再開を祝いました。



イベント企画・制作・RENTAL・看板
株式会社 ANEST

午

謹賀新年

想いを
デザインする
看板 企画・制作
承ります。

千歳市上長都1-2 ☎ 0123-22-0055

HOSHI BODY 株式会社 ホシボディ



本社 TEL 23-9912
千歳市上長都1160-42 ☎ 9:00~18:00

みどり台店 TEL 23-1300
千歳市みどり台1-3-10 ☎ 9:30~19:00

恵庭店 TEL 29-5715
恵庭市戸磯603-18 ☎ 9:30~17:00

謹賀新年

旧年中は格別なるお引き立てを賜り
ありがとうございました
本年も宜しくお願い申し上げます
皆様にとりまして幸多き一年となりますよう
心からお祈り致します

 久健興業株式会社

代表取締役 山口 健
千歳市上長都1124番地4 TEL 0123-23-6132

